

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	転倒を含め、自傷の可能性がある利用者に時間を定め、家族の同意のもと、身体拘束を行っているケースがあるが、書面での定めや主治医の意見などが確認できない。	身体拘束を行うにあたって、書面での同意や今後のケアの方針を明確にする。そして、身体拘束を最小限に留め、拘束のないケアの実践に取り組んでいく。	現在、行っている身体拘束について、今後どのようにして転倒や自傷の可能性のリスクの軽減ができるかを検討し、計画を立てる。その後、書面化し、家族への同意を得る。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。